



くまの議会 だより



中国中学校駅伝
男女アベック優勝!!!

令和7年
12月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- ズバリ町政を問う!
- 視察調査
- 究極の部活!!

第137号
2026.2.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧いただけます

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

12月定例会こんな

12月定例会は、12月2日から12日までの会期で開催されました。

議案19件を慎重に審議し原案のとおり可決しました。

一般質問では、10人の議員が町政の課題などを質しました。

熊野町美術博物館筆の里工房へ名称変更 入館料等が改定されます

既存施設を「本館」とし、新設施設を「創作館」として、両館をもって「熊野町美術博物館筆の里工房」になります。(施行日：令和8年4月1日)

本館への入館料の額の改訂

(1) 常設の展示

利用者の区分	個人		団体(20人以上)	
	現行	改正後	現行	改正後
小・中・高校生	150円	200円	120円	160円
その他15歳以上	300円	400円	240円	320円

※未就学児は無料

(2) 特別の展示

上表「利用者の区分」に応じた額	現行	改正後
	1,000円以内	2,000円以内

※特別の展示の入館料は、2,000円の範囲内で、展示会ごとに設定

※小・中・高校生料金は、15歳以上の半額を基本に設定

(3) 創作館の施設利用料(新設)

室名	利用料金		
和室		800円	
創作アトリエ	第1室	3,200円	
	第2室	3,200円	
	第3室	1,900円	
	第4室	1,400円	
クレヨンルーム	1単位時間当たり (1単位時間=3時間)	10時~13時 13時半~16時半	2,000円
パステルホール			5,300円
クリエイティブラウンジ			2,500円

※町外者が利用する場合は、所定の額の2倍

Q 誰でも使える創作館に施設利用料金が発生している。気軽に使用できるとは感じないが。

A 団体等が占用する場合の料金である。それ以外は、体験、教室、遊びなど気軽に利用できるスペースとなる。

ことが決まりました

熊野町乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）が始まります

乳児等通園支援事業とは、生後6か月から満3歳未満までの保育所に通っていない乳幼児が、月10時間まで保育所等に通園できる新たな制度。

※令和8年4月1日から実施

- Q 障がいのある子も利用できるか。
A 面談の中で情報を確認して対応する。
- Q 来年度から全ての保育施設で実施するのか。
A 最初は1か所から始めていく。



熊野町施設の指定管理者が決まりました

- ① 熊野中央ふれあい館（中溝）
指定管理者 株式会社 公和
指定期間 令和8年4月1日から
令和13年3月31日まで（5年間）



▲熊野中央ふれあい館

- ② 熊野東ふれあい館及び深原地区公園（新宮）
指定管理者 特定非営利活動法人 きらら会
指定期間 令和8年4月1日から
令和13年3月31日まで（5年間）



▲熊野東ふれあい館

ズバリ 町政を 問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。ただ

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

ページ	質問者	質問事項
5	藤本 健太 議員	1. eスポーツへの取組は 2. 避難所となる公共施設の整備は
6	世良 将生 議員	1. 鳥獣対策の現状は 2. 農業の担い手不足・農業耕作放棄地の対策は
7	中島 数宜 議員	1. 稲作農地・農家の減少が続く。現状と今後は 2. 水泳による健康増進施策を展開できないか
8	福垣内 邦治 議員 光本 一也 議員	1. 地域公共交通の維持、確保策は 1. 地域経済応援クーポン券(プレミアム付き商品券)、今回は30枚を
9	大瀬戸 宏樹 議員	1. 南海トラフ地震を想定した防災減災の現状は 2. 老人集会所等の名称変更及び名称統一を
10	竹爪 憲吾 議員	1. 町内の道路ネットワークの整備は 2. 終活支援の現状は
11	水原 耕一 議員	1. 大災害時の避難所の運営は 2. 移動手段に苦慮されている方への支援策は
12	沖田 ゆかり 議員	1. 女性や若者への支援を 2. 持続可能なまちづくりを
13	民法 正則 議員	1. 筆の里工房周辺整備事業の取り組みは 2. 地域おこし協力隊の活用を

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q eスポーツへの取組は

A 町長

目的や事業効果について研究し、他市町の動向を注視する。



藤本 健太 議員

【Q 1】

高齢者と若者の世代間交流に e スポーツを活用できないか。

【A 1】

他市町を参考に環境整備や地域連携、費用などを研究していく。

【Q 2】

高齢者の健康増進と認知症予防への認識は。

【A 2】

認知機能、身体的機能の維持、向上に期待ができると認識している。今後、ニーズ調査を行う。

【Q 3】

どのようなニーズ調査を行うのか。

【A 3】

熊野町高齢者保健福祉計画第10期介護保険計画の策定にあたり実施するアンケート調査にeスポーツを選択肢の一つとした項目を設け、発送する。

【Q 4】

e パラスポーツで障害者スポーツの充実を。

【A 4】

今後、実施予定のニーズ調査を分析し、住民の関心度や需要について整理していく。

【Q 5】

e パラスポーツの無料機器貸し出しを利用し、実際に体験されてみては。

【A 5】

まずは、情報収集から行う。

【Q 6】

e スポーツの大会を誘致し町おこしを考えることはできないか。

【A 6】

民間企業からの提案、地域の機運の高まりなど、今後の状況に応じ、行政関与が必要である場合は検討を行いたい。

Q 避難所となる公共施設の整備は

A 住民生活部長

熊野町地域防災計画において対応している。

【Q 1】

町の避難所における Wi-Fi の整備状況は。

【A 1】

最大で 14ヶ所の指定避難所を設けているが、いずれにも Wi-Fi は導入していない。

【Q 2】

災害時は情報を必要とし、生活環境の面からも導入するべきと考えるが導入しない理由は。

【A 2】

情報検索や、動画視聴などの個人的利用が想定されること、同時接続可能台数の容量やセキュリティ対策にかかる費用住民ニーズの把握など多くの課題がある。また、小中学校の体育館など、Wi-Fi になじまない施設もあることから、導入は行っていない。

【Q 3】

避難所の非常時電源の確保状況は。

【A 3】

西、東防災交流センターは非常用の発電機を設置している。中央防災交流センター、東ふれあい館は太陽光発電システムの電源を確保している。

【Q 4】

避難所開設マニュアルは。またマニュアルを実際に利用しての訓練の実施は。

【A 4】

開設マニュアルは作成しており、避難所開設担当の職員と机上で確認を行っている。

【Q 5】

職員だけでなく住民の皆さんも関わって訓練をする必要があると思うが。

【A 5】

自主防災組織や自治会から避難訓練について相談があれば承りたい。



世良 将生 議員



録画映像

Q 鳥獣対策の現状は

A 町 長

有害鳥獣被害は近年減少しているが、継続して被害報告を受けており、引き続き対策を続けていく。

【Q 1】

熊野町に出没する有害獣で実際に被害報告のあった有害獣は何か。また人に対する被害報告はあったか。

【A 1】

今年度では、イノシシ、ヌートリア、アグマによる田や畑等での被害報告や、アライグマの出没報告を受けている。人に対する被害報告については、受けていない。

【Q 2】

狩獵免許取得に対する狩獵免許新規取得補助金を出しているが、利用状況は。

【A 2】

令和4年度に2名、令和5年度も2名、令和6年度は3名が新規取得の補助金申請をしている。今年度も、1名の申請があった。

【Q 3】

イノシシが多く出た数年前の時に有害獣防除用施設設置補助事業の補助金が不足したと聞いているが、その時はどのように対処したのか。

【A 3】

令和2年度にイノシシが337頭と大量に捕獲され、防除用施設設置補助申請件数も多かったことから補正予算を要求、増額し申請に対しては全て対応した。



Q 農業の担い手不足・農業耕作放棄地の対策は

A 町 長

J Aとの連携を活用し、農業振興に関する研究を続けていきたい。

【Q 1】

農業従事者の負担軽減策のひとつに農協の営農販売課にてドローンによる農薬散布や肥料散布をおこなっているが、一反あたり6,000円と高くなっている。

熊野町黒大豆生産組合やJA部会のこだわり米部会に年会費を払い加入していれば半額の3,000円になる。

そういう組合や部会の年会費に補助金を出してはどうか。

【A 1】

ドローンによる作業委託等への補助金について、農林水産省中国四国農政局に確認を行ったが、現在本町の農地で該当するメニューは無いとの回答であった。

このため、農業従事者から小規模農地でも

ドローン等を利用して、防除・施肥等の農作業の効率化ができるような補助金の要望があることを伝えた。

【Q 2】

町内の農地中間管理機構（農地バンク）の利用状況は。

【A 2】

農地バンクについては、1区画当たりの面積が10アール未満で、農作業に必要な機械が公道から直接進入できないなど、機械の搬入が困難な場合は借受を行わないとの基準があり、町内にはこのような広くて道路が整備された農地がほとんどない。

現在、町で農地バンクを利用している農地はない。

Q 稲作農地・農家の減少が続く。 現状と今後は

A 町長

今後については、JA等と連携を図り、本町の特性を生かせる農業を研究していく。



中島 数宜 議員

【Q 1】

稲作農地・農家の現状は。

【A 1】

農業従事者の高齢化等が主な原因で放棄地が増加していると考えており、稲作農地は令和4年度からの3年間で85haから7ha減少し、稲作農家軒数も381軒から37軒減少している。

【Q 2】

米の収穫量の現状は。

【A 2】

令和4年度からの3年間で433tから27t減少している。

【Q 3】

市街化調整区域と市街化区域の放棄地面積は。

【A 3】

令和6年度の農地利用状況調査面積279ha

のうち、市街化調整区域内の放棄地が約34ha、市街化区域内が約5haとなっている。

【Q 4】

耕作放棄となった農地の有効活用は。

【A 4】

稲作への国の補助金は大区画農地のみのため、本町の小規模な水田を今後も維持していくには国からの支援がないと難しいと考えており、補助金等の新設を望んでいる。

【Q 5】

町内で生産した米を学校給食等に利用できないか。

【A 5】

既にJAから供給できる仕組みとしており、今後も継続的に取り組む。

Q 水泳による健康増進施策を展開できないか

A 健康福祉部長

介護予防事業としてどのような支援ができるか研究していく。



【Q 1】

今年度の小学校プール開放事業は屋外から民間の屋内施設に変わった。その成果は。

【A 1】

熱中症対策などを考慮して民間の屋内プールを活用して7月21日から8月22日まで利用し延べ1,214人。保護者、先生方からの評価は、概ね好評であったと認識している。

【Q 2】

今後も小学校では、屋内プールでの開放事業を継続するか。

【A 2】

皆様からいただいた声や意見を参考に、来年度以降も継続して取り組みたいと考えている。

【Q 3】

介護予防と、健康寿命を伸ばすためには水泳が有効である。支援の考えは。

【A 3】

水泳は全身運動でありながら関節への負担が少なく、高齢者の介護予防に資する有意義な運動であると認識している。現状では町独自に水泳を介護予防事業として展開することは難しい。

今後、近隣の民間施設や自治体の施設を活用する可能性、負担の在り方、ニーズ等、総合的に勘案しながらどのような支援が可能か研究する。

【Q 4】

民間のスイミングスクールへの入校経費を補助できないか。

【A 4】

他の運動種目も含め慎重な検討が必要なので現状では難しい。運動習慣による健康づくりも含め、健康増進施策を推進する。



福垣内 邦治 議員



録画映像

Q 地域公共交通の維持、確保策は

A 町 長

熊野町地域公共交通計画などに基づき、適正な路線の維持に努めていきたい。

【Q 1】

夜間タクシーがなくて不便だととの声を聞くが。

【A 1】

台数もピーク時の5分の1ほど、ドライバー不足もあるとお聞きしている。

ライドシェアなども研究していきたい。

【Q 2】

タクシー事業者への補助金は検討できないか。

【A 2】

バス事業者への補助金も増加傾向にあることから難しい。

【Q 3】

今後県道が延伸してくる、バス路線の計画は。

【A 3】

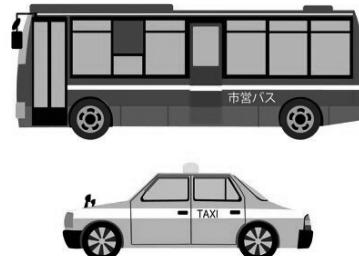
把握していない。

【Q 4】

新しい県道バイパス、出来庭中溝の旧道を利用して大きく環状のバス路線を。

【A 4】

安全性の確保を考慮しながら、おでかけ号も含め検討していきたい。



光本 一也 議員



録画映像

Q 地域経済応援クーポン券（プレミアム付き商品券）、今回は30枚を

A 町 長

30枚に近づけるよう頑張りたい。

【Q 1】

現下の物価高騰対策、自治体が自由に使える国の重点支援地方交付金が前年度の1.1兆円から2兆円に拡充が検討されている。町の考えは。

【A 1】

交付金を活用した事業の着実な実施に取り組む。



▲ クーポン券イメージ

【Q 2】

過去6回実施したクーポン券事業の評価は。

【A 2】

令和4年度以降90%超の高い使用率である。参加店も、「来客数、売上とも増加を実

感。」「次回も参加したい。」という声が多くあった。

【Q 3】

学校給食の食材費も高騰しており、保護者負担金を上げないためにも、これまで1食あたり25円の食材費への補助金を10円～20円上乗せはできないか。

【A 3】

給食委託業者からも物価高騰により食材費値上げの依頼をうけているので検討する。

【Q 4】

9月に補正予算措置した家庭用防犯カメラ等設置費助成事業の予算が残りわずかとなっている。引き続き予算化を要望する。

【A 4】

今後の需要見込みなどを精査し、検討する。

Q 南海トラフ地震を想定した防災減災の現状は

A 町 長

地震に対する備えをさらに徹底する。



【Q 1】

この地震はわが町にも甚大な被害を及ぼし、町民の生命に直結する。町としての対応は。

【A 1】

これまで相互応援協定、避難路の整備や橋梁補修、防災無線のデジタル化、避難所の整備、備蓄の確保など進めている。

【Q 2】

本町の被害想定は。

【A 2】

震度6弱、死者0、負傷者12名、建物全半壊1,446棟、避難者数1,270名等。

【Q 3】

道路や消防団の車庫、消防署設備の地震火災に対するリスク管理は。

【A 3】

これから確認をしていく。

【Q 4】

通信の確保はできているか。

【A 4】

行政無線の予備を図書館に設けている。

【Q 5】

県内市町等の相互応援協定が機能しない場合について話し合う機会があるのか。

【A 5】

今のところはない。町内土木業者等と連携し、県とも連絡調整し進めたいと考えている。

【Q 6】

町民に地震発生のリスクを啓発し、同時に備えを強化して一人でも多くの町民を守らなければならない。町の考えは。

【A 6】

町民に対する啓発も含め、備えを徹底する。

Q 老人集会所等の名称変更及び名称統一を

A 町 長

近いうちに基本方針とする。

【Q 1】

各自治会には拠点となる施設があるが、それぞれの名称は異なっている。老人集会所やコミュニティセンター等、利用者にとっては戸惑うことが多い。広く地域に開かれた施設として名称変更とその統一を検討しては。

【A 1】

令和3年の自治会の協議において、変更しないとの意見を踏まえ決めたところ。地域の意見を聞き慎重に判断したい。

【Q 2】

名称変更に補助金などの縛りが障害となっているのか。

【A 2】

変更に関して問題はない。

【Q 3】

町としてこれまで名称変更や統一などの検討はあったのか、またこれからの方向性は。

【A 3】

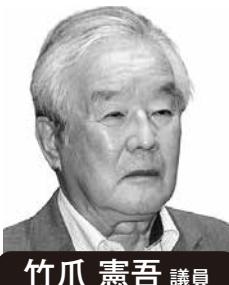
あくまでも地域の意見が優先ではあるが、今後も見据え、検討課題であると考えている。

【Q 4】

時代の変化により、薄れる地域コミュニティの問題や、災害時の避難場所としても活用するためにも、しっかり地域と協議しながら検討を望むところだが。

【A 4】

転入者も増加しており、名称に戸惑う場合もあるのではと感じる。これらを研究し近いうちに名称統一できるものはするということを基本方針としたい。



竹爪 憲吾 議員



録画映像

Q 町内の道路ネットワークの整備は

A 町 長

県道は、広島県道路整備計画2021。町道は、第6次総合計画に基づき、改良事業を推進中。

【Q 1】

県道矢野安浦線の熊野バイパス（ハローズ付近から）の進捗状況は。

【A 1】

道上川に架かる橋梁の出来庭側の橋台工事が完了した。呉地側の橋台工事に向け、仮設工事が進んでいる。

【Q 2】

町民会館前交差点の拡幅工事の完成は。

【A 2】

早期完成に向けて工事を推進すると伺っている。

【Q 3】

町道萩原線阿戸分かれ交差点からの今後の予定は。

【A 3】

今年度、用地境界立会等を実施する。来年度からは用地買収や移転交渉を実施する。

【Q 4】

役場前交差点から馬橋間は、児童の登下校時に危険だが、拡幅はできないか。

【A 4】

短期的に実施可能な狭隘区間の一部に離合箇所を整備予定である。



▲ 熊野バイパス（ハローズ付近）

Q 終活支援の現状は

A 町 長

エンディングノートの活用や成年後見人制度の周知に取り組んでいる。

【Q 1】

高齢者世帯の相談件数や内容・対応は。

【A 1】

年間1,800件程度。内容としては、金銭管理、入院、施設への入所、死亡後の手続等をしてくれる親族がいないなどが多い。

相続等の法的な相談は、専門家に繋がるよう情報提供している。終活として、ACP（将来医療やケアが必要になった時、自分がどう生きたいかを、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有するプロセス）や成年後見人制度について説明している。

【Q 2】

終活支援は、どんな活動をしているのか。

【A 2】

ACP講座や講演会を実施。認知症や成年

後見制度等の講座、研修会で、自身の医療、ケアについての考えを家族、専門家と話し合い文書に残しておくことなど普及啓発を行っている。

【Q 3】

最近、墓じまいを考えている方からの相談もあり、今後、町として将来を見据え、現在の墓の管理状況の課題解決のためにも、公営の合同墓導入に向けて検討してもらえないか。

【A 3】

社会全般の動向や、地域のニーズ、法的要件を考慮しながら適切な対応をしたい。

財政負担の課題もあるので早急な実施は難しい。

Q 大災害時の避難所の運営は

A 町 長

自治会、自主防災組織等と協力し運営していく。



水原 耕一 議員

【Q 1】

予測されている最大震度 6 強が発生した場合の避難所への避難者数は。

【A 1】

2,830人と想定している。

【Q 2】

避難所、福祉避難所の収容人数は。

【A 2】

避難所14箇所で6,780人（畳1畳に1人換算）福祉避難所は73人。

【Q 3】

福祉避難所が73人とは少なすぎる。対策が急務だと感じるが、いかがか。

【A 3】

設備が限られていることから十分な受け入れ体制を確保することが難しい。安心して生

活できる環境を整備していく。

【Q 4】

受付業務が紙媒体で行われているが、2,830人の避難者を受け入れようと思えばパニックになるのでは、スマートフォンで受付処理を行う自治体があるが、導入できないか。

【A 4】

導入効果等、研究していく。

【Q 5】

停電時の対策と障がい者用の発電機の確保また、燃料の備蓄状況は。

【A 5】

太陽光発電、発電機等を配置している。障がい者用として確保はしていないが、優先的な利用を考えている。燃料は消防法により一定量以上の備蓄はできていない。

Q 移動手段に苦慮されている方への支援策は

A 町 長

利用しやすい公共交通体系を整える。

【Q 1】

満員のお出かけ号で乗車拒否される方のため、予約制の導入はできないか。

【A 1】

一案である。慎重に検討する。

【Q 2】

坂道が多い団地内ではバス停までの移動が大変である。お出かけ号のルート上でならどこでも乗降車できる取り組みはできないか。

【A 2】

現在の運行形態では難しいため、慎重に検討する。

【Q 3】

夕方以降町内にタクシーがない。タクシー会社にライドシェア（タクシー会社が主体となり一般の方が自家用車を使って有料で

人を運ぶ）導入のバックアップはできないか。

【A 3】

運転手の高齢化で夜間に運行できる方が減っている。ライドシェアが一つの解決策と認識しているので事業者と協議しながら研究していく。





沖田 ゆかり 議員



録画映像

Q 女性や若者への支援を

A 町 長

相談窓口の設置や「居場所づくり」の推進に取り組んでいく。

【Q 1】

若者の妊娠前の健康管理として、※プレコンチェックシートのホームページ掲載と、情報を伝えるための取り組みは。

【A 1】

町ホームページに男性用、女性用のチェックシートを掲載している。今後は二十歳を祝う会などで配布していく。

【Q 2】

働く女性の健康推進として、以前三原市のLINE相談を、熊野町でも実施していただきたいと要望したが。

【A 2】

熊野町では各ふれあい館で健康相談の実施やメールでの回答をしている。今後はLINEを含め相談体制など調査研究していく。

【Q 3】

若者支援の課題は18歳以上の若者にアプローチする術が乏しく、安心して過ごせたり仲間をつくれる居場所が少ないと。茨城県ひたちなか市堀崎町では、若者サポートステーションとして就労相談の実施や、みんなのたまり場、自習室、Wi-Fiのあるロビーなど多目的に利用可能なふれあいセンターなどを設置している。

熊野町でも取り組んでいただきたいが。

【A 3】

若者の居場所づくりについて、今後努力していく。

※プレコンチェックとは…

将来の妊娠・出産に備え、妊娠前に自身の健康状態や妊娠への影響を調べる検査



Q 持続可能なまちづくりを

A 町 長

将来世代の意思を政策決定に反映できる仕組みづくりに努めたい。

【Q 1】

住民意識調査では、毎回、道路の整備について重要度が高いが、定期的に町内を循環して、計画的に町道の舗装工事を行っているのか。

【A 1】

要望があれば現地を確認し、道路の損傷による第三次被害があるのか、交通量、周辺の開発状況などで判断をしている。

【Q 2】

まちづくりに多様な女性の声が反映されていない。豊島区では※F1会議として女性ばかりのグループで意見が交わされ、まちが変わっていくことに期待感があるとのこと。熊野町でも取り組んでいただきたいが。

【A 2】

社会教育団体など女性が集まってまちづくりを考えるなど今後、教育委員会とも連携して取り組んでいきたい。

【Q 3】

将来世代が感謝したくなるまちづくりのために、取り組んでいくべきではないか。

【A 3】

前向きに取り組んでいく。

※F1とは…

20代から30代の女性のこと。
(F1世代と呼ばれます)



Q 筆の里工房周辺整備事業の取り組みは

A 町 長

文化芸術への取り組みを通じて、地域の活性化を図る。



民法 正則 議員

【Q 1】

中溝地区から、新施設への賑わいルートを整備するため、誘導看板の設置や坂面大池の歩道面の舗装など基本的なハード整備も重要なではないか。

【A 1】

旧市街地から安全に歩いて来られるよう、誘導看板や歩行環境の改善について研究する。

【Q 2】

現在筆の里工房がKCP（クマノ・クリエイティブ・パレット）という組織を立ち上げ、地域住民の参画や意見聴取を得ながら継続的に筆の里創造の丘公苑について協議を重ねている。私もメンバーの一人として参加しているが、役場としてどのように関与するか。

【A 2】

情報発信や関係機関への接続など、KCP

の活動が拡大・具体化するよう支援を行う。

【Q 3】

「観光を考える会」が昨年からアクセス改善に取り組んでいる。中溝地区から創造の丘公苑等の移動手段として時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス「グリーンスローモビリティ」は導入できないか。

【A 3】

「筆の日」に試行運転すると聞いているのでこれからの取り組みも踏まえて今後研究していく。



▲ グリーンスローモビリティ

Q 地域おこし協力隊の活用を

A 町 長

地域課題の解決や活性化の担い手として、制度の活用を図る。

【Q 1】

協力隊員の募集はどのように行われているか。

【A 1】

町のホームページや県・全国の協力隊の募集サイトを活用し、広く情報発信を行っている。

今後は、民間求人サイトの活用も検討し、募集方法の充実を図る。

【Q 2】

前回の活動を検証して町のサポート体制、地域との関わり方など改善点を把握したのか。

【A 2】

活動内容や地域との関わり、住環境・町のサポート体制について検証を行った。改善点を整理し次回の受け入れに生かしていく。

【Q 3】

採用目的や求める人物像に沿った審査基準や方法を定めて任用することが重要ではないか。

【A 3】

町の特性を踏まえたうえで、活動が地域活性化に結び付くような任用方法を検討し、より効果的な制度活用を図っていきたい。

【Q 4】

町に適した活動を考えた方が良いのではないか。

【A 4】

熊野筆や筆文化など地域資源を生かした情報発信や交流創出が有効と考える。

地域を知る期間を設け段階的に活動を進めることで、定着と地域活性化につなげていく。

移住・定住先進地と伝統工芸を活かした公園整備を視察調査

～総務建設委員会～

10月16日から17日までの2日間、鳥取県北栄町の移住・定住対策の取り組みと島根県松江市の「出雲かんべの里」について視察調査を行いました。

北栄町の移住・定住対策

鳥取県のほぼ中央に位置する人口約1万4千人の北栄町は、大栄スイカや砂丘長芋、らっきょう等の生産が盛んな農業のまちです。また、名探偵コナンの作者・青山剛昌さんの出身地にちなんだ関連施設やコナンのオブジェが並ぶ「コナン通り」など「名探偵コナンに会えるまち」づくりを進めており、年間80万人の観光客が訪れる観光のまちでもあります。

移住・定住対策として役場内に専任支援員を置く移住相談窓口を設置し、空き家バンク、おためし住宅、空き家改修補助金など多彩な住宅支援制度、就労・就農・起業支援、地域おこし協力隊事業、出産から子育て期まで切れ目のない子育て支援策などを通じて、毎年100人前後の移住者を受け入れています。

また、国（総務省・国土交通省・経済産業省）や東京大学、民間企業等と連携し、関係人口の創出を深化させた「二地域居住」の取り組みを展開しています。



北栄町の担当職員から
詳しく説明を受けました



北栄町の魅力満載の
「移住ガイドブック」



おためし住宅
(パンフレット)



視察を終えて名探偵コナン前で

出雲かんべの里（島根県松江市）

20ヶ所の緑に囲まれた広大な自然の中で、出雲地方の歴史と文化を学ぶ施設として平成6年に開館しました。

施設内には、見て触れて体験できる工芸館（木工・籐細工・機織り・陶芸）、語り部による民話館、レストランなどがあり、地元のNPO法人に運営委託され、年間12万人の入館者を受け入れています。

開館後30年が経過し施設全体が老朽化しており毎年修繕に追われていること、駐車場スペースが30台と狭いことから大規模なイベント開催が困難なことなどが課題とのことでした。



機織りの職人さん（工芸館）



木工の職人さん（工芸館）



民話館の語り部さん

今回の行政視察を踏まえ、本町が進める『筆の里工房周辺整備事業』と『移住・定住対策』について、今後の提案につなげたいと考えています。

筆の里工房周辺整備事業（観光交流施設・公園整備）の工事進捗状況を視察しました！

～総務建設委員会～

筆の里工房北側で令和8年9月のオープンを目指し、令和7年5月から工事が行われている観光交流施設の名称が『筆の里工房・創作館』に決まりました。

本委員会では、10月21日に町の担当者から同創作館及び都市公園（調整池擁壁・駐車場）の進捗状況と今後のスケジュールについて説明を受けるとともに、現地視察を行いました。



観光交流施設の概要

【構 造】木造一部鉄骨造

【延床面積】2,359 m²

【工 期】令和7年5月26日～
令和8年5月25日

【観光交流施設・基礎工事の様子】



【調整池擁壁工事の様子】



学校給食（食缶方式）を視察

～文教福祉委員会～

熊野町では、昭和59年に学校給食（ランチボックス方式）が開始されましたが、令和7年度2学期より、温かい給食を提供する「食缶方式」に41年振りに変更になりました。変更に伴い、搬入、配膳から食事の注ぎ分け、食後の片付けまで一連の流れについて視察しました。



給食事業者が11時に学校に届けています。



給食と食器をセットし、教室前まで運搬します。



配膳当番の生徒が一人ひとりに配膳します。



給食タイム。おかわりもできます。

今回は、搬入から食後の後片付けまでの一連の流れについて視察しました。

生徒たちは、ドキドキワクワクしながら配膳から後片付けまでを限られた時間の中で手際よく取り組んでいることがとても印象的でした。今後、更に充実した給食となるよう皆さんと一緒に考えていきます。

介護予防とみんなく先進地を視察調査

～文教福祉委員会～

12月24日から25日までの2日間、奈良県広陵町けんこう福祉部の介護予防の取り組みと大阪府堺市教育委員会の「みんなく」について視察調査を行いました。

広陵町「ICT」を活用した介護予防の取り組み

広陵町では、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進しています。「地域つながりネット」を導入し、医療機関や介護事業所、通いの場、サロン等の情報を積極的に提供され、高齢者にとって必要不可欠なシステムとして利用されている。



▲広陵町の職員から詳しく説明を受けました



▲認知症あんしんガイドブック

堺市教育委員会「みんなく（睡眠教育）」の取り組み

「みんなく」とは、子どもの睡眠を中心とする生活習慣を改善し、心身の健康を増進させ、不登校を始めとする子どもの課題を解決する教育に取り組んでいる。平成27年度に堺市立三原台中学校において不登校改善を目的に導入され、不登校の改善が図られたことから、現在では堺市で取り組まれており様々な成果をあげられている。



▲堺市教育委員会から詳しく説明を受けました



▲「みんなく」のパンフレット

先進的な取り組みを学びました。必要に応じ本町へ政策提言を行ってまいります。

友好都市・三重県熊野市にて防災・減災の研修

～町議会議員 視察研修～

10月29日から3日間、友好都市熊野市、現地で防災・減災について学び、市議会議員との意見交換を行いながら交流を深めてまいりました。

熊野市は、人口14,613人 世帯数8,194世帯。紀伊半島の南東部に位置し、津市（県庁所在地）までは約120km、名古屋市まで約190km、大阪市まで約160kmの距離にあります。

海岸線の北部はリアス海岸で、柱状節理の樋ヶ崎や日本の海水浴場百選の新鹿海水浴場などがあり、南部は日本の渚百選にも選ばれた隆起砂礫海岸の七里御浜が続いています。



広大で充実した防災倉庫



ダンプと油圧ショベルの重機



まちの至る所にある海拔表示



海岸線に設置された避難誘導看板

熊野町では令和元年11月1日に三重県熊野市と友好都市協定を締結し、両市町において、産業、観光、文化・スポーツ、防災等の幅広い分野における交流と諸施策に連携・協力して取り組んでいます。

今回視察で訪れた防災倉庫は写真の通り種類と数の多さには感心しました。特に段ボールベッドとほぼ同じ価格の間伐材を使った折りたたみ簡易ベッドは再使用率が高く強度も十分そうで、熊野町にも是非導入を検討していただきたい備品です。

B&G財団から支援されたダンプ&油圧ショベルの重機も各2台所有と本格的でした。予算の関係で直ぐには実現不可能ですが熊野町の防災倉庫の備品もコツコツと増やして充実した内容にしていただき、いざという時の備えにしていただきたいです。

だいせん みさと
鳥取県大山町・島根県美郷町にて広報紙研修
 ～議会広報特別委員会～

10月の2日から3日までの2日間、鳥取県大山町・島根県美郷町にて広報編集について研修し意見の交換を行いました。

大山町は、人口14,510人 世帯数5,568世帯。南北20kmの間に、日本海（海拔0m）から中国地方最高峰「大山」の頂（標高1,729m）を含み、海と山の恵みたっぷりの自然豊かな町です。

大山町役場前にて



▲吉原大山町議会議長と広報委員の皆さんと
実りある時間を共有できました

大山町の編集のポイント

- 小学生高学年でも理解できるように心がけている
- 表紙の写真はプロのカメラマンである町議が担当
- 表紙の写真を上手にとるコツは？
 - ・何パターンか撮っておくこと
 - ・沢山撮る事
 - ・撮る前にイメージだけは考えておくこと
 - ・加工もありで加工アプリにかけてみること

美郷町は、人口4,355人 世帯数1,844世帯。島根県のほぼ中央に位置し、その南北を中国地方最大の「江の川（ごうのかわ）」が貫流。緑豊かな山々に囲まれ、美しい自然風景が四季折々の姿を見せます。

美郷町広報紙・速報版



美郷町の編集のポイント

- 広報委員の6名全員が新人議員で編集
- 定例会終了後すぐに発行する速報版はタイムラグが無い
- 議会だよりは表紙のカラーだけでなく黒と青の2色を使用し
わかりやすく・読みやすい工夫をしている
- 活字を少なくして見易く
- 余白、文字数、写真の画質、フォントなどの統一

大山町・美郷町・熊野町と編集方法が違うものの「住民に分かりやすく読んでいただく」という点に関しては共通の目標でした。

熊野町の広報委員は在籍6名で、年4回のペースで「議会だより」を発行しています。

発行に至るまで各号4回、議会広報特別委員会を開催しており、思ったことは提案し、工夫をしながら、皆さんに読んでもらい易い「くまの議会だより」になるように努めています。

頑張る部活!! 熊野東中学校・陸上部



～全国大会を終えて～

＜男子主将 小笠秀一郎＞

全国大会の舞台では、チーム全体のコンディションが万全ではありませんでしたが、粘り強い走りができたことは、練習の成果を出せたのではないかと思いました。

全国大会という大舞台で今まで味わったことの無い緊張感を感じたり、他県代表選手の真剣な姿勢を目の当たりにし、自分にとってもチームにとっても本当にいい経験になりました。

＜女子主将 佛圓真帆美＞

私は体調不良のため走ることができなくなりましたが、後輩達が走る区間、コースが急遽かわっても対応し走り切ってくれました。本当に感謝してもしきれません。そんな後輩たちを私は誇りに思います。私にとっては熊野東のユニフォームを着て走る最後の大会、一番大事な大会で走れないという悔しい経験、走った後輩たちにとっても想定外の変更に対応しなければならないという経験となりましたが、来年以降それぞれの成長につなげる貴重な経験にしていきたいと思います。

地域の皆さまへ

男女で広島県代表として、全国の強豪校と競い合えたことは本当に貴重な経験でした。この経験を今後の人生に活かしていきます！これからも応援よろしくお願いします！

題字の揮ぐう者



熊野東中学校 2年生
くまもと はな
隈元 晴奈さん

あとかき

2月に入り、寒さも一段と厳しい季節となりました。12月に行われた臨時議会では皆様の生活の一助になるよう、物価高騰対策として「地域クーポン券」、「子育て応援手当」の予算を可決しました。

昨年末に大手ハウスメーカーの「まちの幸福度ランキング2025」において広島県内2年連続1位、中国地方でも1位と明るいニュースがはいってきました。

今後も住民の皆様が幸福を感じられるよう、活動していきたいと思います。

藤本 健太

次の定例会は

3月3日(火曜日)
開会を予定しています



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。